

タイトル	10 . コミュニケーション能力を身につける
------	------------------------

ねらい 成果	<p>社会人にとって最も求められているコミュニケーション能力を身につける。コミュニケーション能力は、話す能力も必要だが、それ以上に聴く能力が必要である。話す能力は、話題や話の展開の仕方を意識することが必要である。聴く能力では気持ちだけでなくスキルが必要である。カウンセリングの傾聴技法を利用して、積極的な聴き方を習得する。そして、実際に話をしたり聴いたりする。</p>
-----------	--

	時間	ねらい/目標	活動内容/問い <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プリント</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">形態</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">手法</span>
1	05	前回のふりかえりをする。	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プリント</span> 『voice』 (1)出席を取る。 (2)前回のワークをふりかえる。 ・どの店が高得点を得たかも発表する。
2	20	チェントークでウォーミングアップする。	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">形態</span> 5人組 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プリント</span> 『チェントーク』 (1)ベーシック・ワンワードの進め方を説明する。 (2)話す順番を決める。 (3)2回させる。 ・1回目はルールが分からなくて戸惑う生徒がいるので短い目で切り上げて、もう1回させる。 ・2回目は、次に話す人を指名する。 (4)ストーリー・ワンワードの説明をする。 (5)2回させる。 ・1回目は、順番に。 ・2回目は、次に話す人を指名する。 (6)ベーシック・ワンセンテンスの説明をする。 (7)1～2回させる。 ・同じことの繰り返しなので、生徒の状況を見て回数を決める ・1回目は順番に。 ・2回目は、挙手で立候補する。 (8)ロジック・ワンセンテンスの説明をする。

			<p>(9)大型布サイコロを配布する。</p> <p>(10)2回させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目は、次の人がサイコロをふる。</li> <li>・2回目は、前の方がサイコロを振り、指名する。</li> </ul> <p>(11)全体に感想を聞く。</p>
3	10	上手な話し方の説明をする。	<p>プリント『アクティブ・トーキング』</p> <p>(1)話の雰囲気、話題の探し方、話題の定番、話の流れを、例を交えながら説明する。</p>
4	15	話題を探す。	<p>プリント『話題MAP』</p> <p>(1)書き方を例を板書しながら説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの、長い枝を張るようにする。</li> </ul> <p>(2)『話題MAP』を作らせる。</p>
5	10	自分の聴く能力をチェックする。	<p>プリント『アクティブ・リスニング・チェック』</p> <p>(1)回答させる。</p> <p>(2)集計させる。</p> <p>(3)聴くのに大切なものを話す。</p> <p>①安心感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が安定している。</li> <li>・相手の力を信じる。</li> <li>・ありのままの自分を認め、可能性を信じる。</li> </ul> <p>②思いやり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役に立ちたいという気持ち。</li> <li>・押しつけがましくなく、負担にならない。</li> <li>・相手も自分も得をする「お互いさま」の気持ちを大切にする</li> </ul> <p>③傾聴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の身になってひたすら話を聴く。</li> <li>・相手の話を聴くには大きなエネルギーが必要になる。</li> </ul> <p>④感情処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の感情を受け止める</li> <li>・自分の感情もコントロールする。</li> </ul> <p>(4)判定をする。</p> <p>⑤5～6点……すばらしい力があります。</p>

			<p>④ 2～4点……十分に力があります。</p> <p>③ 0～2点……少し力があります。</p> <p>② - 1点～ - 3点……力が少し不足しています。</p> <p>① - 4点～……力不足です。</p>
6	15	上手な聴き方の説明をする。	<p>プリント『アクティブ・リスニング』</p> <p>(1)基本構造を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下層のものは基本になる。</li> </ul> <p>(2)相手の観察を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NLPの理論を利用する。</li> <li>・自分にとって、右が未来・現在、左が過去。</li> <li>・視覚タイプは、上。</li> <li>・聴覚タイプは、横。</li> <li>・体感タイプは、下。</li> </ul> <p style="text-align: center;">視覚 未来 聴覚 過去 体感</p> <p>(3)かかわり行動を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉だけでなく、身体言語が大切である。</li> <li>・人は見た目が9割とも言われる。</li> </ul> <p>(4)傾聴技法を説明する。</p> <p>(5)質問技法を説明する。</p>
7	15	話し方・聴き方の実習をする。	<p>形態5人組</p> <p>(1)順番を決める。</p> <p>(1)話し手が、『話題マップ』の中から適当な話題を探して、アクティブトーキングを意識しながら、2分間話す。</p> <p>(2)メンバーは、それをアクティブ・リスニングのスキルを使って聴く</p> <p>(3)交替する。</p>
05	05	本時をふりかえる。	<p>プリント『ふりかえりシート』</p> <p>(1)本時のふりかえりを書かせる。</p> <p style="text-align: center;">半分以上書くこと。</p>

準備	『voice』 『チェーントーク』 『アクティブ・トーキング』 『アクティブ・リスニング・チェック』 『アクティブ・リスニング』 ・大型サイコロ
----	--

# Voice

## 10. コミュニケーション能力を身につける

7月14日

### 生徒の満足度

満足度	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数	6	6	4	3	2	1	1	0	1	0

### 生徒の感想

①心理的なことが知れてよかった。けれど、自分が話す時は話題がなくて困った。②いろいろ楽しめた。③人と話すと難しいなあと思った。私は話すことが苦手だから、ちょっとためになりました。④話し手より聴き手が大事。⑤人の表情でどういうふうを考えているかがわかって面白かった相手の話を聞いて相づちを打ったり、普段しているけれど、意識してやるとおかしくなった。⑥自分のことを話すのはすごく難しいと思った。⑦コミュニケーションって難しいなあと思った。⑧過去の映像を思い出す時、上を向く人がよくいるのは本当だと思った。⑨「チェーントーク」は思ったより前の人の言ったことを受けてというのが難しかった。つなぎの言葉を入れると更に難しかった。後半はみんなに話すのが大変だった。⑩いろいろな人の話が聞けてよかった。自分が話すのも楽しいけど、みんなが話しているのを聞くのも楽しいし、大事だと思った。⑪みんなと話す時に目を見る時と見ない時とで分けていけないといけないと思った。⑫自分が話す時愚痴っぽい話になったが、相づちとか質問とかしてくれてよかった。⑬前から話す方が向いていると思ったが、この授業をしてやっぱり聞く方しか向いてないと思った。よく話せる人になりたい。⑭今日の授業は本当に面白かった。私は心理学にとっても興味があり、すごく楽しかった。

### 教師の感想

この授業も後わずか。今日のようなコミュニケーションを重視した授業を毎回繰り返していけば、かなり力がつくのではないかと思った。自分のことをふり返ってみても、案外話題に困ることが多い。その時、しょうもない話でも熱心に聞いてもらえるとスラスラ出てくるものだ。そうした体験をしてもらえるようになってもらいたい。今日の授業は、心理学っぽい、カウンセリングっぽい授業になった。こんな授業が生徒に受け入れてもらえればいいのだが。